

The map shows the location of Kyoto University (京都府立医科大学) in Kyoto City (京都市). A callout box provides details about the university, including its name in Japanese (京都府立医科大学) and English (Kyoto University), and its founding year (1897). Another callout box provides details about the Kyoto University Medical Center (京丹後市立弥栄病院) in Iwano (伊根町), including its name in Japanese (京丹後市立弥栄病院) and English (Kyoto University Medical Center), and its founding year (1972).

京丹後長寿コホート研究における検査項目と参加診療科

<調査内容(抜粋)>

- ①問診：家族構成，既往歴，薬物服用状況，労働状況，婚姻状況、学歴、同居状況、交流、要介護度、日常生活状況（Modified Rankin Scale）、作業量、生活習慣(喫煙，飲酒，運動，睡眠等)等
- ②食事調査(BDHQ:簡易型自記式食事歴法質問票等)
- ③身体計測・身体組成測定(身長，体重，体脂肪率，骨密度，ウエスト/ヒップ比，腹囲，高精度体成分分析装置InBody等)
- ④循環器・動脈硬化関連検査(血圧，心電図，心エコー(弁の石灰化)，血圧脈波(血管年齢)，CAVI,baPWV等)
- ⑤肺機能検査
- ⑥体力・運動機能検査
- ⑦血液検査
- ⑧便検査
- ⑨尿検査
- ⑩聴力検査



- ⑪皮膚科検査（褥瘡、経皮水分蒸散量、皮膚水分量等）
- ⑫歯科検査(残存歯数測定，歯周病検査，刺激唾液量測定，咀嚼能力検査等)
- ⑬整形外科検査(関節可動域(膝・股関節)，超音波検査(膝)，レントゲン(頸部・腰部・股関節・膝)，四肢・体幹筋力測定，ロコモティブシンドローム関連測定等)
- ⑭AGEs(Advanced Glycation End-product)測定
- ⑮呼気ガス測定(NO，CO，CH₃，H₂等)簡易脳機能測定(fNIRS等)
- ⑯CT装置（320列）による全身CT検査
全ゲノム解析

<研究予定期間>

2017年8月～2050年3月31日予定

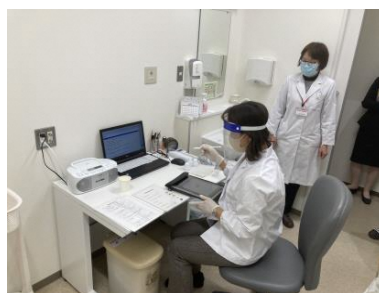
<本学臨床科>

総合診療科、循環器内科、腎臓内科、消化器内科、内分泌代謝内科、神経内科、血液内科、精神科、脳神経外科、産婦人科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、整形外科、リハビリテーション科、歯科

CT装置(320列)による全身CT検査

1-2名/日で4-500名/年で実施中。

京丹後長寿コホート研究



長寿健診受診の方

順路

()	G 検診室	☐ 問診票
()	WC トイレ	☐ 検尿
()	C 点滴室	☐ 採血
()	C 問診室1	☐ 血圧測定(/) ☐ 身長()体重() ☐ 腹囲()
()	K 2階 耳鼻咽喉科	☐ 聴力検査
()	N 2階 採血コーナー	☐ 心電図・動脈硬化検査 ☐ 心臓超音波検査
()	P 2階 リハビリ室	☐ 嚥下スクリーニング ☐ 握力 (右/ 左/) ☐ 脚伸展筋力・脚屈曲筋力
()	H 2階 眼科検査室	☐ 視力・眼圧検査 ☐ 眼底検査
()	C 問診室1	☐ MMSE ☐ ウエスト・ヒップ比 ☐ 体脂肪率(%) ☐ 論理的記憶(30分後の再生)
()	E 放射線科	☐ 胸部X線・CT検査 ☐ 骨密度検査
()	G 検診室	☐ 着替え
()	C 内科	☐ 結果

歯科

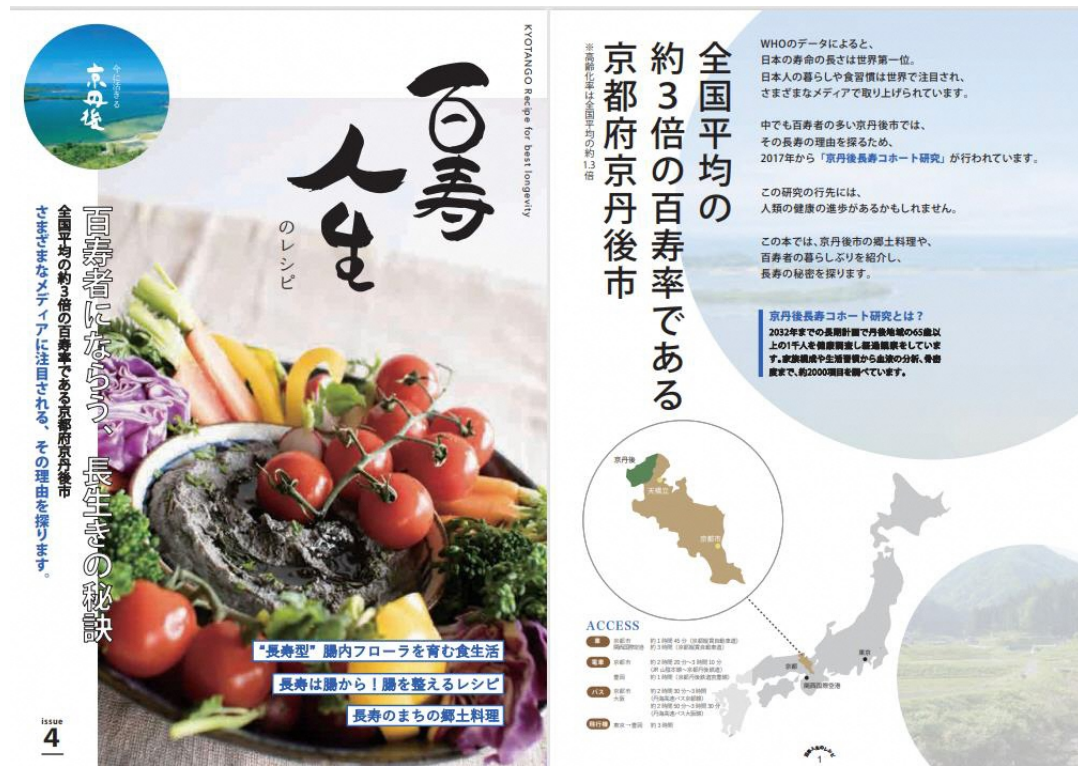
角膜
網膜

味覚

膝
写真

★ 各科で健診終了後(チェック後)次へ移動して下さい。

京丹後市 健康長寿福祉部 健康推進課と共同作成
百寿人生レシピ集 (日本語版) 2022/8/21発行



長寿の限界に挑む研究成果を 人類の健康長寿に！



京丹後長寿コホート研究

- ・ 弘前大学を核とした文部科学省のCOI(Center of Innovation)プログラムにおいて、本学が参画研究機関の一つとして、2017年より健康データを蓄積し、全国の13大学と連携した取組を進めている。
- ・ 本研究は、研究機関のみならず、企業やマスコミ等から多くの注目を集めており、今後の更なる産学官連携による取組の深化とイノベーションの創出が期待されている。



内藤 裕二 教授
京都府立医科大学
大学院医学研究科

腸内細菌研究の第一人者で京丹後市と京都市の比較調査等の研究を実施



の場 聖明 教授
京都府立医科大学
大学院医学研究科

疫学研究の第一人者で京丹後市における長寿のコホート研究の全体を統括



奥野 恭史 教授
京都大学
大学院医学研究科

ビックデータ解析の第一人者で京丹後市のデータ解析を実施



村下 公一 教授
弘前大学
健康未来イノベーション
研究機構医学研究科

短命県である青森県で健康を基軸としたCOIプロジェクトの戦略を統括



約2,000項目にもわたるデータ分析

- ✓ 社会環境的データ(職業、学歴、日常生活等)
- ✓ 個人生活活動データ(食事、睡眠、趣味等)
- ✓ 生理・生化学データ(腸内細菌、血管年齢、血液検査等)
- ✓ 分子生理学的データ(ゲノム等)

一般的には50~100項目のため、精緻な分析が可能



病院と連携したコホート研究によるビックデータ化

- ✓ 長寿のまちである京丹後市の約1,000人(65歳以上)のデータを6年にわたり蓄積
- ✓ 弘前大学を核としたCOIプロジェクトの連携により、6,000人を超えるデータベース基盤を整備

数年に渡るビックデータ化により、コア技術として確立



京丹後市の長寿の秘訣を科学的に解明

- ✓ 京丹後市民は社会活動や運動の時間が長く、食週間も食物繊維を多くとることが分かっており、
 - ・ 血管年齢が全国平均より10歳程度若い
 - ・ 腸内細菌の善玉菌が多いなどの分析結果

各研究分野の第一人者が参画し、質の高い研究を実施



産学連携によるイノベーションの創出

- ✓ 京丹後市におけるスタディツアー等を実施し、多くの企業が参加(味の素、小林製薬、カゴメ、ロート製薬等)
- ✓ 弘前大学を核としたCOIプロジェクトは、20社からの大型投資

長寿は後発優位性が低く、産業面の高い競争優位性を確保